

実習風景について

今回の記事は電気科1年生の工業技術基礎の様子になります。

工業技術基礎とは、いわゆる「実習」のことで、電気科1年生ではワープロの検定試験にチャレンジしたり、屋内配線を模した回路を作ったり、電気回路の測定実験を行ったりと、実際に作業をしながら学んでいく授業となります。

今回の授業内容は、「簡単ボタン制御ロボ」の製作とプログラミングになります。前回の授業までに電子部品を基板に実装して、ロボットを組み立てたのですが、今回は完成したロボットにプログラムを入力して、実際に走らせてみるという内容になります。

楕円形のコースを作り、実際にプログラムを入力して走らせてみるのですが、タイミングよくコーナーで方向を変えるのが難しく、何度もプログラムを組みなおしてチャレンジしていました。

